



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



一般社団法人地域連携ネットワークみえ

三重県伊勢市御菌町長屋1963(株)エホリユーション内

(☎0596-63-5080 FAX0696-65-7006)

E-mail info@3c-mie.net <https://3c-mie.net/>

当団も7年目となり、今年度の活動も第1四半期を終えようとしています。先月は総会で理事体制が新たになりました。

最近、生成 AI の活用が話題になることが多く、某野球監督の報道とともにその功罪の議論も活発になっています。

いずれにせよ、我々は老いとともに脳の劣化を嘆く同輩もみられます。しかし、年齢に関係なく学ぼうとする意欲が重要とされています。アメリカの詩人サミュエル・ウルマンの詩に「青春とは人生の或る期間を言うのではなく心の様相を言うのだ。(中略)年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いが来る。」というのがあります。

今年度は、団の活動として学ぶ機会の支援を積極的に進めていく予定です。

5月9日に総会を開催し新体制！

先月9日に令和7年度決算総会を開催いたしました。

非営利活動であることから、当期収支はマイナスでしたが、今後も交流会や研修会の参加会費により必要経費をまかなって参ります。

さて、今回は理事の任期満了により、改選が行われて新たな体制となりました。団の発起時から理事を務めていただいていた三輪時弘氏が退任され、新たに長谷川聡子氏が新理事として就任されました。

三輪氏は、三重県よろず支援拠点コーディネータとして不動産の専門分野を中心に企業の経営戦略、不動産有効活用、事業再生、補助金・BCP・事業承継・法人化など幅広い内容で、活躍されています。今後も当団運営委員としてお世話になります。

長谷川氏は、ビジネススクール秘書科講師、ラジオ局リポーターを経て、NTT テレメイト三重支店教育セミナー講師となられ、平成12年4月より独立し、株式会社 Will Staff を立ち上げて県内外の企業を対象に活動されています。毎年500人以上の社会人1年生をトレーニングされ、人財づくりに寄与されています。

お二人とも今後さまざまな相談に乗っていただけますので、交流会やメールなどでお問い合わせをいただければと思います。



JAみえなか全職員研修会記念講演開催 「異常気象の未来予測～二季の世界」



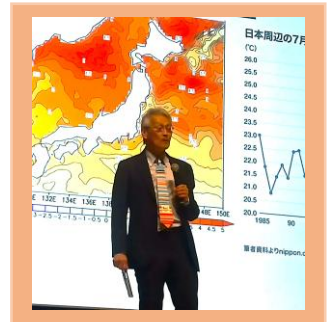
5月16日に当社団の法人会員である“JAみえなか”の全職員研修会が開催され、その記念講演として三重大学大学院の立花義裕教授が登壇されました。

2010年以降の猛暑頻発・冷夏不発生は、気候のレジームシフトが一因であり、温暖化に伴うレジームシフトが高気圧と偏西風蛇行を強めたとのこと。

40度の夏は人災である気候災害ということです。

現在の日本は、異常気象に狙い撃ちされているため気候の変化が最も厳しい国の一つとなっているそうです。

このままでいくと確実に世界で最も住みにくい国になってしまうとのこと。本気で温室効果ガス削減対策に取り組む必要があります。



ところで、異常気象と人口減少には相関関係があるそうです。

夏は暑いほど死亡率が上がる傾向があり、冬は寒いほど死亡率が上がります。

つまり、夏と冬の二季化になった場合、人口減少に拍車がかかるとのこと。人口減少を議論するうえで、気候変動の要素はあまり鑑みられていませんが、両者がリンクしていることは確かだそうです。



JA多気郡女性部総会記念講演開催 「はじめての薬膳～あなたも健康に！」



5月30日は、“JA多気郡”の女性部総会が開催され、記念講演として鈴鹿医療科学大学の副学長であり、日本薬膳学会の理事長である高木久代教授が登壇されました。

薬膳は中国医学理論の五行学論に基づく五味・五性のお話や、三因制宜と



して、因時制宜、因地制宜、因人制宜のお話がありました。

五味とは、酸味、苦味、甘味、辛味、鹹味(かんみ)のこと。五性とは、温、熱、寒、涼、平のこと。

因時制宜は、季節のものを食す。因地制宜は、地のものを食す。

因人制宜は、自分の体質に合ったものを食す。ということです。

体質は遺伝的要素もありますが、環境要因が7～8割を占めるそうです。

これからも学びの機会をお手伝いしていきます。

